

身体障害作業療法学演習

[演習] 第3学年 後期 必修 1単位

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》○桜庭聡 本家寿洋 岩瀬義昭

【概 要】

身体障害作業療法学で学んだ知識や技術を元に、臨床実習で応用するための評価、治療方針、治療目標、治療プログラム、治療経過、再評価までの流れを経験し、各疾患別の事例演習を行う。具体的には、身体障害が生じてしまう様々な疾患を呈する事例を提示し、少人数のグループで討議し、発表し、教員のフィードバックを通じて、作業療法の治療に対する問題解決能力を向上させていく。

【学習目標】

身体障害作業療法の知識を応用した治療技術の習得と、各疾患の作業療法の過程を評価から再評価までの過程を学ぶ。

1. 身体機能障害の治療原理を説明できる。
2. 各疾患における身体障害作業療法の評価項目の抽出ができる。
3. 各疾患における身体障害作業療法計画立案ができる
4. 各疾患における身体障害作業療法の経過及び結果から今後の計画ができる。
5. 各疾患における身体障害作業療法の事例の考察ができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1) 3	臨床実習の展開	評価から再評価に至るまでの過程を学ぶ。	本家寿洋
4) 6	身体機能障害の治療原理	ボディメカニクス、運動学習、関節可動域、筋力、筋緊張に対する治療原理と治療を学ぶ。	本家寿洋 岩瀬義昭
7) 9	脳血管障害治療・事例演習	脳血管障害の治療と事例演習を実施する。	本家寿洋
10) 12	骨折・切断・末梢神経損傷腰痛、変形性膝関節症の作業療法治療・事例演習	・作業療法対象患者の初期情報をもとにした事例演習を実施する(1)。 ・動画をもとに事例の動作分析を体験する。	本家寿洋 岩瀬義昭
13) 15	腱板損傷・糖尿病・COPD・脊髄損傷の作業療法治療・事例演習	・作業療法対象患者の初期情報をもとにした事例演習を実施する(2)。 ・作業活動の治療的応用を学ぶ。 ・姿勢分析と治療への応用を学ぶ。	本家寿洋 岩瀬義昭
16) 18	神経・筋疾患、関節リウマチの治療・事例演習	ギランバレー・多発性硬化症・重症筋無力症・関節リウマチなどの治療・事例演習を実施する。	岩瀬義昭
19) 21	神経変性疾患治療・事例演習	パーキンソン病・脊髄小脳変性症・筋萎縮性側索硬化症の治療・事例演習を実施する。	岩瀬義昭
22) 24	IVES・tDCS・ボトックス治療における作業療法	IVES・tDCS・ボトックス治療における作業療法の治療を学ぶ。	桜庭 聡
25) 27	人間作業モデルの評価演習	人間作業モデル10の概念を理解し、人間作業モデルの評価法の演習を行う。	本家寿洋
28) 30	人間作業モデル事例演習	人間作業モデルにおける事例演習を実施する。	本家寿洋

【評価方法】

定期試験(80%) レポート課題(20%)で評価する。

解答用紙は、希望者に返却するので、講義した内容と関連させて復習すること。

【備 考】

教科書：市川和子 編 「標準作業療法学 作業療法臨床実習とケーススタディ」 医学書院 2014年

参考書：矢谷令子 他 編 「作業療法実践の仕組み」 協同医書出版 2014年

山田孝 編 「高齢期障害領域の作業療法」 中央法規 2012年

山本伸一 他 編 「活動分析アプローチ」 青海社 2011年

山本伸一 編 「作業療法における上肢機能アプローチ」 三輪書店 2014年

安保雅博 他 著 「脳卒中後遺症に対するrTMS治療とリハビリテーション」 金原出版 2013年

富永孝紀 他 著 「リハビリテーション臨床のための脳科学」 協同医書出版 2014年

森岡周 著 「リハビリテーションのための認知神経科学入門」 協同医書出版 2014年

伊藤克浩 他 編 「重度障害者への活動分析アプローチ上 基本的介入のあり方から治療展開へ」 青海社 2013年

【学習の準備】

- ・身体障害作業療法の講義を復習して臨むこと。
- ・予習では、各テーマに該当する教科書を読んで講義に臨むこと(20分)。
- ・復習では、実施した内容を小グループで確認すること(20分)。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP4) リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

岩瀬義昭（作業療法士） 本家寿洋（作業療法士） 桜庭聡（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での臨床経験を活かし、担当する講義を行う。